



古代の建築物が再現され学習活動にも活用されている



毎年9月に開催されるかぐや姫まつり



周囲に存在していた竹林も取り込まれている

DATA・BOARD 19

- ①奈良県北葛城郡広陵町大字三吉
- ②面積：65,000㎡
- ③近鉄大阪線大和高田駅からバスで約30分・竹取公園前下車、西名阪自動車道法隆寺ICから車で約10分
- ④讃岐神社、馬見丘陵公園、ナガラ山古墳、薬山古墳、石ヶ谷古墳、新木山古墳ほか
- ⑤七夕短冊の飾り付け、かぐや姫まつり(9月)



19 竹取公園



広陵町は、かぐや姫伝説の残されたまちとして知られている。「竹取公園」は、ふるさと街道整備事業を受けて、整備が進められた公園である。

整備にあたっては、広陵町の中心部に位置する馬見丘陵地の自然を活かしながら、周囲に点在する古墳をはじめとした史跡の保護・活用も図っている。

園内には、かぐや姫をモチーフにした施設が整備されているほか、せせらぎ広場、休息施設、子供たちのための多彩な遊具施設などが設けられており、緑の中を巡る散策路によって各施設が結ばれている。また、古代の遺跡が発見された場所に竪穴式住居や高床式倉庫を再現させたり、学びの森として樹木の用途を紹介する場を設けるなど、学習活動にも利用できるようなっている。

かぐや姫と関わりの深い竹についても、周辺に竹林が点在していたことから、地域住民との意見交換を行い、園内に一部の竹林を取り込んで活用している。

整備後は、地域住民の憩いの場として親しまれているほか、遠足や野外学習を目的に近隣からも多くの利用者がある。また、園内で開催されるかぐや姫まつりでは、町内の住民グループにより多彩なイベントが開催されたり、地元で生産された竹製品の販売などが行われている。